



な り た な お こ
成田 奈緒子 こどもの権利、こども施策を総合的に推進！日高市こども計画策定！

こどもの意見を尊重する取り組みは

答弁 審議会・学校運営協議会を活用する等方法を研究

動画で一般質問をご覧ください



問 子ども（配慮の必要な子含む）、子どもを養育する者の声を反映し施策にすくいあげることは、自己肯定・有用感、主体性を高めることにつながると考える。意見を反映させる仕組みと方法は。

答 インターネットによるアンケート調査と市民コメントを募る。場合によっては直接意見を聴くワークショップなど工夫する。声を聴かれにくい子どもも、安心して意見を言える配慮を講じる。

問 こども家庭庁の「こども大綱」に則し少子化・貧困対策、障がい児・若者支援等施策を横断的に推進するには。

答 子ども・若者・大人の各ライフステージに応じて切れ目ない支援策を講じ、福祉分野以外にも横断的有機的に緊密な連携を図り、取り組みを計画。施策実行は子育て支援部署にて進行・管理する。

すこやか親子支援事業について

問 子どもの弱視発見に役立つスポットビジョンスクリーナーの導入経緯と、ライフデザイン教育の視点含むパパママ教室機能拡充の考えは。

答 応答が曖昧、発達が緩やか等3歳児の視覚異常の早期発見治療につなげるために導入。日高市子育てガイドを現行の紙に加えホームページへの公開などを検討する。



さ と う ま こ と
佐藤 真 土石流、鉄砲水などから市民の生命や財産を守るための対策を

危険箇所周辺住民への周知方法は

答弁 転入者にハザードマップを配布し、危険周知する

動画で一般質問をご覧ください



問 巾着田の来場者を高麗川の鉄砲水から守るための方策は。

答 巾着田上流部にある河川カメラ、水位計、洪水予報、消防からの情報を管理事務所で把握し、避難を呼び掛ける。

問 市内の小・中・義務教育学校の防災教育でハザードマップ活用は行われているか。

答 ハザードマップを活用した教科横断的な取り組みを学校行事を含めて行い、避難場所の確認、避難計画の作成まで取り組んでいる。

問 中央防災会議「防災基本計画」の修正を踏まえた避難所の環境改善は。

答 避難所の環境改善は非常に重要であり、段ボールベッドなど、避難所での身体的不安の軽減につながる備蓄品を計画的に整備していく。また、栄養バランスの取れた温かい食事についても、自主防災組織やボランティアの協力を得ながら、提供の方策を検討する。



土石流の危険を示す標識（清流地区）